

「自分でできること」

小田原市立城北中学校

三年 片山 美来

犯罪や非行をする人たちは一体なぜそのようなことをしたのか。それは人によって違ってもかもしれないし、それぞれに共通点があるかもしれない。

犯罪をする人は、家庭環境や社会環境、精神的問題、依存症、などが挙げられる。非行をする人は、家庭環境や学校生活、自身の性格、など。犯罪、非行のどちらも環境や性格に影響していると思う。それに性格は環境によって変化していくものだと私は思っている。故に環境に注目することで犯罪、非行のない地域社会を作る鍵になってくるのではないだろうか。

環境と聞いて真っ先に思い浮かぶのは生活環境だった。私は世間で言うネグレクトでも

なければ毒親に育てられたわけでもない。両親からは生きてきた約15年、愛情をもらい、見て学ぶことをし、話し方や人との喋り方、調、やっつけていいこと、やっつけてはだめなこと、などとても色々なことを学ばせてもらった。だから親は子供に一番影響を与える人であると思う。そんな親がネグレクト、毒親、虐待、で精神的ストレスや恐怖を与え愛情を教えない。人にはそれぞれの個性があり性格がある。人と全く一緒とはならない。だが周りに頼れる人がいなかったり頼り方がわからなかったりすると、考え方や感じ方が普通の人と変わってくる。それは自分の性格によってその環境に馴染んで将来成功できるような人になるのか、または世間で言う社会不適合者になるのか。私は、環境に恵まれているか、いないかで人生が変わると思っている。もしくは生まれ持った才能だったり体質などもあるかもしれない。

誰にでも生きてきた中で失敗してきたこと

があると思う。私は自分自身がなにか得意なことがあるわけでもない。いつも失敗ばかりするし苦手なことしかない。暗記が苦手なせいで勉強は嫌いで、人見知りだから人と話すことも苦手だ。

私が小学生の頃、発表やスピーチをしたことがあった。発表しても自分のときだけ拍手がなかったり、反応が他の人より薄かったりして余計に発表などの人前で話すことが嫌いになった。それは中学に行ってももちろん続いた。そして、中学に行ってから発表をしたとき1人の先生にとあることを言われた。

「もう少しゆっくり話せばいいのに」、そう言われた。そう言われて初めて気付いた。自分は緊張のあまりとても早く話していることに。前々から、他の人よりも自分は話すのがすこし早いかもしれない。と、思っていた。でも先生に言われた一言で、今まで誰も教えてはくれなかったことを教えてくれた。

それから発表のときはゆっくり話すことを心

がけた。小学校の先生も付き合いが長い友達も、気遣いなのか、それとも「もちろん自分が早く話していることに気づいてるよね？」って思っていたからなのか、どうでも良かったからなのか、わからない。あの時先生が言ってくれなかったら今でも自分は変わっていなかったと思う。

人は人を変えることができる。自分の経験からわかった。犯罪、非行をする人は自分はどうすればいいのか、どうすれば良かったのか。それを教えてくれる人がいなかったのではないかと思う。

一人ひとりに目を向け相手に教える。それをみんなが適度に、は難しいかもしれないけれどもまずは意識することから始めてみる。それが相手にとって自分ができることなんじゃないかと思う。